

事務事業名		雲南市さくらの会補助事業		所属部	産業観光部	所属課	観光振興課	
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>		所属G	観光振興グループ	課長名	安部哲男	
	施策名	(36)観光の振興		担当者名	伊藤恭将	電話番号	0854-40-1054 (内線) 2432	
	目的:対象	A)市外の人 B)市民	意図	A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらう。 B)観光情報を発信する。				
	基本事業名	(105)観光資源の充実		予算科目	会計 013501 款 3501 目 51525	大事業名	観光振興総務管理事業	
目的:対象	観光客	意図	魅力ある観光商品を購入・消費する。				中事業名	さくらの会交付金

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(年度~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
雲南市が行う日本一のさくらのまちづくり事業の一環として、さくらの保育管理等を実施する雲南市さくらの会に交付金を交付する。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動) 雲南市さくらの会への交付金の交付	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動) 雲南市さくらの会への補助金交付 (さくらの保全管理は日本一さくらのまちづくり事業で実施する。)				
② 活動指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
ア	さくらの会会員数	人	801	796	795	795
イ	研修会等の回数	回	2	3	0	1
ウ	桜植栽本数 (延べ本数)	本	109,130	109,145	109,160	109,175
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	雲南市の景観 (日本一のさくらのまちづくり)		ア	桜植栽本数 (延べ本数)	本	109,130	109,145	109,160	109,175
			イ	さくらの会会員数	人	801	796	795	795
			ウ						
② 意図 (対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
雲南市の花である「桜」の住民参加型保護育成活動により美しい景観を守り、創造する。		ア	桜植栽本数 (延べ本数)	本	109,130	109,145	109,160	109,175	
		イ							
		ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)		② コストの推移		単位	H29年度 (決算)	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (計画)
さくらの会決算 11,800千円		事業費内訳	国庫支出金	千円				
※財源は雲南市木次さくらのまちづくり基金			県支出金	千円				
雲南市さくらの会補助金 11,800千円			地方債	千円				
			その他	千円	10,600	10,900	11,800	300
			一般財源	千円				
		事業費計 (A)	千円	10,600	10,900	11,800	300	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2			
	延べ業務時間	時間	725	725	725			
	人件費計 (B)	千円	2,956	3,141	3,074			
トータルコスト(A)+(B)		千円	13,556	14,041	14,874			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
笹部桜等の苗木育成に取り組み、尾原ダム周辺に植栽が続けられている。さくらの保全管理は続けられているが、さくらの会総会が開催されない状況が続いている。	さくら守の負担を軽減するため、平成30年10月からさくら守の補助作業員が配置された。	雲南市さくらの会補助金は木次さくらのまちづくり基金を財源としているが、将来の財源について懸念する声がある。

事務事業名	雲南市さくらの会補助事業	所属部	産業観光部	所属課	観光振興課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 適切な植栽地を確保することにより、さらに植栽本数を増やすことが出来る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 さくらの保全管理が滞ると、さくらの良好な状態を保つことができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合 (具体的な手段や類似事業名)	日本一のさくらのまちづくり事業
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 日本一のさくらのまちづくり事業により市が直接さくらの保全管理を行うことが出来る。
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 事業費の大部分を占めるさくらの保全管理にかかる経費については、現在の管理水準を下げるのが適正な管理を欠くことにつながり、現在のさくらの保全管理にかかる事業費を下げることはできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 雲南市さくらの会の事務を市以外で行うことができれば削減できる。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 さくらの保全管理区域の検討が必要な部分がある。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	さくらの保全管理は必要不可欠であるが、将来にわたる財源確保や、保全管理の実施主体等を考える必要がある。
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
さくらの保全管理については、日本一さくらのまちづくり事業により行う。																								